

心を育てる読書活動の充実

ア 令和5年度の読書状況（8月1日現在）※4月21日から貸し出し開始

	1年 (21人)	2年 (29人)	3年 (18人)	4年 (28人)	5年 (14人)	6年 (27人)
令和5年度7月迄 学年読書冊数	795冊 (36.1冊/人)	1072冊 (37冊/人)	470冊 (26.1冊/人)	408冊 (14.6冊/人)	267冊 (19.1冊/人)	770冊 (28.5冊/人)
令和4年度 学年読書冊数	4860冊	1865冊	2997冊	1094冊	1956冊	1192冊
令和4年度 一人当たり平均読書冊数	156.8冊	98.2冊	107.0冊	112.9冊	72.4冊	70.1冊

読書量の差や読むジャンルの偏りはあるが、各学年の目標冊数（高：100冊，中：80冊，低60冊）を目指して、読書活動に意欲的に取り組む児童が増えてきている。

イ 朝の「読書タイム」

興味・関心を育てるために、月・木・第2土曜日に「読書タイム（第2土曜日は「なかよし読書）」を設定している。また、地域や保護者の読み聞かせグループによる読み聞かせを行い、読書推進を行っている。



地域の方による読み聞かせ

ウ 児童・職員による読み聞かせ

第2土曜日の朝の時間を活用し、6年生による読み聞かせ（「なかよし読書」）を行っている。また、昼休みに、読書委員会の児童による読み聞かせも行っている。11月の読書月間には、教職員による読み聞かせも実施している。



保護者による読み聞かせ

エ 読書ボランティアとの連携

毎週月曜日の朝の時間に、「虹色の花」（地域の有志で結成）による1年生への読み聞かせを行っている。また、毎月一回朝の時間に、「お話玉手箱」による読み聞かせを実施している。



教職員による読み聞かせ

オ 読書月間の取組

11月に読書月間を設定し、本の貸出し冊数を増やすことや職員の読み聞かせの実施、図書しおりの作成及び配付、感想画の発表掲示など、様々な取組をしている。また、この期間には、読書祭りも実施される。内容としては、読書感想文や多読者の表彰、「お話玉手箱」によるお勧めの本の紹介や劇などを行っている。



カ 家庭読書

毎月23日を親子読書の日と設定し、親子で読書に親しむことを推奨している。学年の実態に合わせた読書の軌跡となる「読書カード」にも取り組み、本の紹介を行っている。



読書祭り